

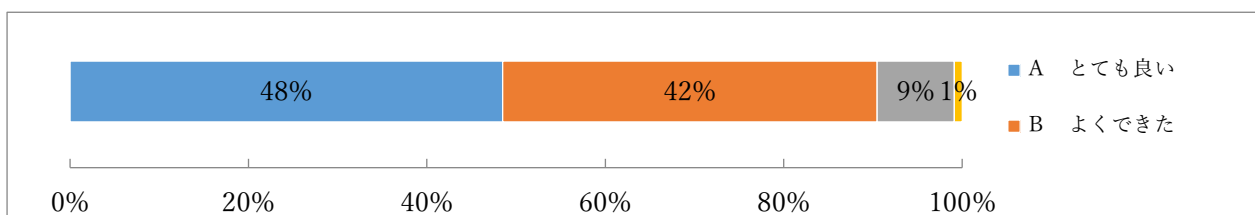
令和5年度 学校評価アンケートについて

1 北小さしすせそ（凡事徹底）について

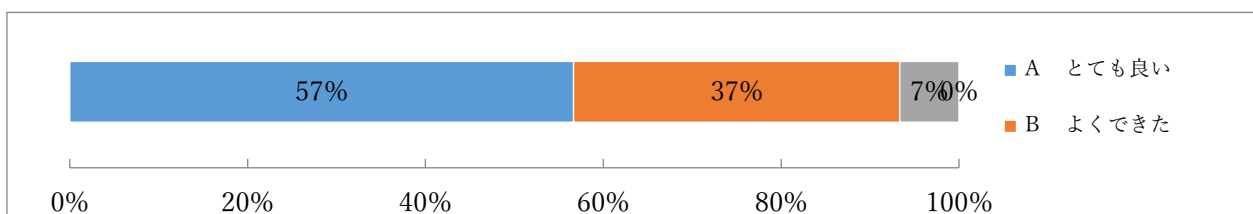
◎時間の意識向上 活動スタート一斉に！

（児童）

令和4年度 時間を守って行動している（できた 90%）



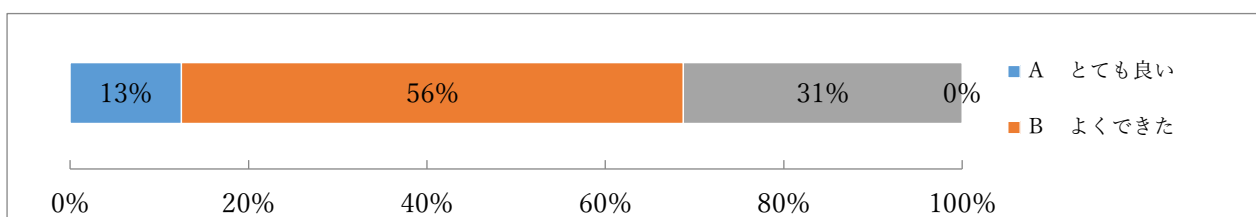
令和5年度 時間を守って行動している（できた 94%）



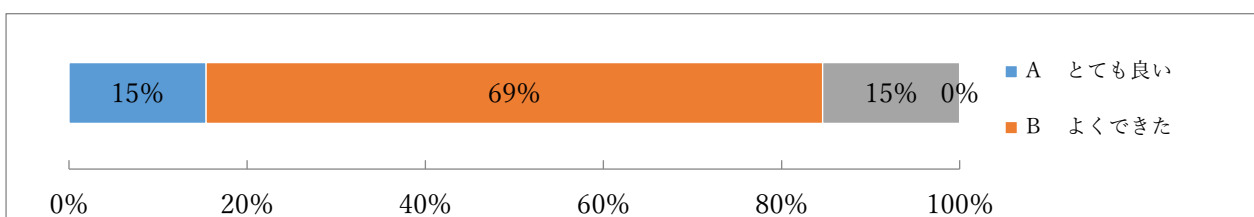
昨年度よりも、高い水準となっている。さらに「とても良い」の回答率が上がっている。休み時間の終わりや清掃の取りかかりなどの様子を見ても、次の活動に間に合うように行動する姿がとてもよく、時間を意識した行動が定着してきていると感じる。

一方で、職員の回答も好結果となっている。

（職員）令和4年度 時間を守って行動している（できた 69%）



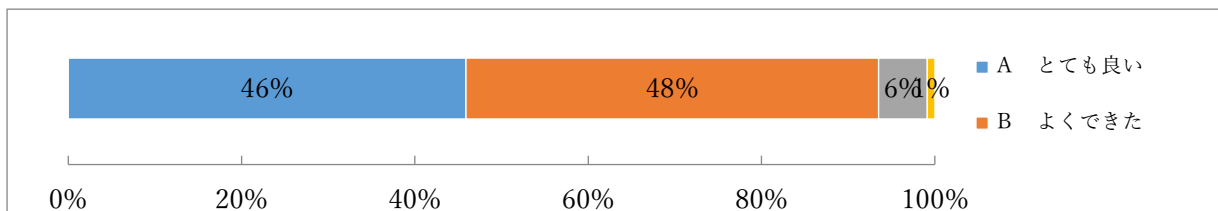
令和5年度 時間を守って行動している（できた 84%）



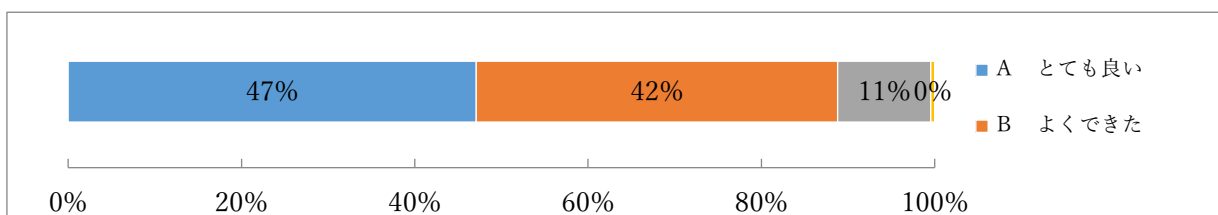
今後も引き続き自ら行動できる児童の育成に努めていきたい。

◎人間関係づくり・充実した授業も話を聞く態度から

(児童) 令和4年度 最後まで、人の話を聞いている (できた 91%)



令和5年度 最後まで、人の話を聞いている (できた 89%)



児童の評価は2ポイント下がっているが、高水準を保っているが、「よくできなかった」の回答が5ポイントあがっている。

(職員) 令和4年度 最後まで人の話を聞いている (できた50%)

令和5年度 最後まで人の話を聞いている (できた62%)

職員の評価は、児童よりも低く評価されているが、少し上昇している。今後も丁寧な指導の継続をしたい。友がなぜそう考えたのか「聴く」習慣がいっそう大切となる。今後も全校で聴きあい語り合っていく学校へと向かっていきたい。

具体的な方法として

- 学級内ルールの徹底。(子ども同士で確認)
- 「ほめる」「認める」(教師が)
- 習慣化(低学年から)

など日々の少しずつの成長を児童も教師も実感できるようにしていきたい。

2 保護者アンケートから

◎学校に関する評価

「お子さんは楽しく学校に通っている」 96% (昨年96%)

「子どもや保護者にとって、意見が言いやすい。気軽に相談したりできる」
90% (昨年91%)

「子どものがんばっているところやよいところをほめてくれる」
91% (昨年93%)

「分かりやすい授業につとめ、丁寧に教えてくれる」
91% (昨年90%)

【結果と考察】

学校に関するすべての項目で保護者から高評価をいただいているのは大変ありがたい。評価が現状を維持できているのは、家庭と共通理解して、子どもに対する日頃の支援・指導を継続している成果であると思われる。また、担任だけでなく、町から配属されている支援員との協力や、町の心理師や保健師にも学校を支えていただいていることも大きいと考えられる。地域の方々の子どもたちを暖かく見守る眼差し、保護者との丁寧ですばやい連絡、授業改善等、一つ一つが相互に作用しての成果であろう。一方で、少数の意見も真摯に受けとめ、支援や指導をさらに充実させていくことを大切に考えたい。

◎家庭生活に関する評価

「しっかりあいさつする」	80%	(昨年77%)
「読書」	38%	(昨年50%)
「外遊び」	60%	(昨年69%)
「手伝い・清掃・片付け」	60%	(昨年57%)

【結果と考察】

「しっかりとあいさつする」という割合が3ポイント上回った。保護者も子どもたちがあいさつをしていると感じている結果になっている。見守り隊など地域の方に日々あたたかい言葉をかけていただいていることから子どもたちは学んでいるのではないだろうか。

読書については昨年度より大幅に減少しており、他の評価に比べて低い水準となっている。日常的な読書の習慣化を目指したい。

外遊びや手伝いなどについても、まだまだ向上していくための工夫が必要といえよう。家庭でのゲームや動画視聴に時間を費やす生活が多くなっていると考えられる。コ年度のPTA講演会で教えていただいたように、メディアの利用は節度あるものならば、問題はないが「依存」が大きな社会問題となっていて、町では子ども宣言等でメディアとの向き合い方を提案しているが、更なる実態の把握と対応を保護者とともに考えていく必要があると考えられる。